2005. 1. 14

家康の攻めに備えて作られた 27 曲

　意外なことにこれは、東の家康からの攻めに備えるために作られたものです。秀吉により関東に追いやられた家康の後釜に座ったのが田中吉政で、彼は豊臣方の武将です。1590～1600 年にかけて岡崎城主だった人物で、この間に迷路の　ょぅな道を作り防御しやすい街としたのです。旧東海道がこんなになっていたとは、ちっとも知らなかったです。

スタートは欠町 27 曲の碑

公園の駐車場に車を止めて、バスで若宮町まで移動して 27 曲の碑のある場所 を探しました。大きな門柱が立ち、御影石の説明がありましたがなかなか立 派なものです。ここからスタートしたのですが、道々の案内がほとんどありません。 ちょっと残念なことです、せっかく立派な街道が残っていながらこれでは 多くの人が訪れても、散策を楽しむことは困難です。

27 曲がりの碑

岡崎市郷土館

国の重要文化財『岡崎市郷土館』

コースを少し外れた所に郷土館があります、大正 2 年に建てられた旧額田郡 公会堂です。ルネサンス様式の建物は、当時岡崎一のモダンな西洋館でした。 正面舞台にはセリ上がり式の装置があり、なかなかの評判であったと伝え られています。
展示品は西三河最古の寺院跡である北野廃寺などからの出土品、日本ライン の命名者志賀重昂の志賀コレクションなど.....。

27 曲歩いて見つけたもの

ここでは写真で見てください

これはお肉屋さん

そこにはこんなものが

53 次有数の宿場町だった伝馬

38 番目の宿場町で公用の旅行者に馬や人足の供給をする『伝馬役』をに

刀のつばが取り付けてありました

西本陣跡は石柱があるのみでした

なって いました。他に旅人や商人も行きかい、旅籠やみやげ物店、茶店などがひしめき東海道きっての賑わいを見せていました。
大名行列も訪れます、本陣は東と西、さらに大津屋本陣の三つあったようです。 しかし、これらの建物はなく碑があるのみでちょっとさびしいです。

岡崎信用金庫資料館

立派な太鼓楼をもつ専福寺

岡崎信用金庫資料館

　ひときわ目に付くすばらしい建物で、思わず足を踏み入れました。ルネサンス様式のレンガ造りの洋館で大正６年に岡崎銀行として誕生し、戦後は商工会議所として使われました。
現在は岡信の資料館として、またギャラリーとして市民に親しまれています。ギャラリーでは絵の展示がされており、何人かの人が見学していましたし、ご婦人のグループが何か趣味の集いも行っていました。
二階が資料館で世界の紙幣、コインなどの展示がありなかなか興味深く見ることができました。

観光百選に選定されています

岡崎城東玄関だった籠田惣門跡

岡崎城東の入り口

籠田公園入り口に籠田惣門跡の碑が建っています。岡崎城は四方を堀で囲まれ、東の堀を渡った所に籠田惣門はありました。つまり、ここはお城の東玄関でした。 籠田公園から連尺通りへ、材木町、魚町を経て伊賀川を渡り八丁町へ歩きました。しかし、この間にあるべき史跡遺跡は見つけられませんでした。最後は八丁味噌のカクキュウを見学して帰りました。

27 曲がりを造った田中吉政とは

彼は 27 曲がりだけではなく、城主だった 10 年間に矢作川の土手と矢作橋の建設、外堀の建造と町の整備などあらゆる工事に着手しています。 また岡崎を去った後は有明海の干拓や、筑後川の治水、水郷めぐりで有名な柳川の運河建設にも成功した人物なのです。　びっくりです。